

セキュリティリスクの変化とマネジメント

組織を取り巻くITセキュリティリスクは、刻々と変化しています。サイバー脅威状況、クラウドの本格利用といったリスク環境の変化に十分に対応できず、課題を抱えている組織も多くあり、情報セキュリティマネージャーの重要性も高まっています。

今回も、こうしたリスク変化の大きい分野において最前線で活躍されている有識者をお招きし、知識の獲得、スキルアップを目的に、ISACA東京支部がカンファレンスをオンラインで開催いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

日時

2023年2月18日(土)13:30-17:15

開催形態

オンライン開催
(Zoom Webinarを予定)

CPE

205分のCPEに相当します。
(ISACA継続教育 4CPE相当)

参加申込

<https://bit.ly/cismconf11>

参加費用

ISACA東京支部会員 1,500円
後援団体・他ISACA支部会員 2,000円
一般 2,500円

お申し込み期限

2023年2月17日(金)17:00

主催: ISACA東京支部

後援: (ISC)2 Japan Chapter

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会 (JASA)

一般社団法人 日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会(NCA)

13:30-13:35	開会	開会/ISACA東京支部 よりご挨拶	ISACA東京支部 会長 赤塚 正幸
13:35-14:35	講演1	複眼的な取り組みが求められるサイバーレジリエンス 奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 教授 門林 雄基氏	
		質疑応答(10分)	
14:35-14:40		休憩(5分)	
14:40-15:40	講演2	サイバー犯罪の現状と対策におけるインテリジェンスの活用 日本プルーフポイント株式会社 シニア セキュリティ コンサルタント 内田 浩一 氏	
		質疑応答(10分)	
15:40-15:50		休憩(10分)	
15:50-16:10		CISM資格のご紹介	ISACA東京支部 CISM委員会
16:10-17:10	講演3	情報セキュリティマネージャーが知っておくべきクラウドセキュリティと社内普及 株式会社野村総合研究所(NRI) 品質監理本部 情報セキュリティ部 オフィスセキュリティグループGM 佐古 伸晃 氏	
		質疑応答(10分)	
17:10-17:15	閉会	閉会挨拶/アンケート・CPE説明	ISACA東京支部 CISM委員会

13:35-14:35 講演1

複眼的な取り組みが求められるサイバーレジリエンス

概要

今日、残存リスクの高まりを受け、「投資ゼロで今すぐできる業務改善」のみに忙殺されることの危険性が再認識されているのではないのでしょうか。本講演ではサイバーレジリエンス向上にむけての規制環境の変化や、国内外の取り組み動向に触れ、研究開発、産業育成、人材育成、事故調査、標準化をはじめとする複眼的な取り組みがサイバーレジリエンス向上において必要不可欠であることを述べます。

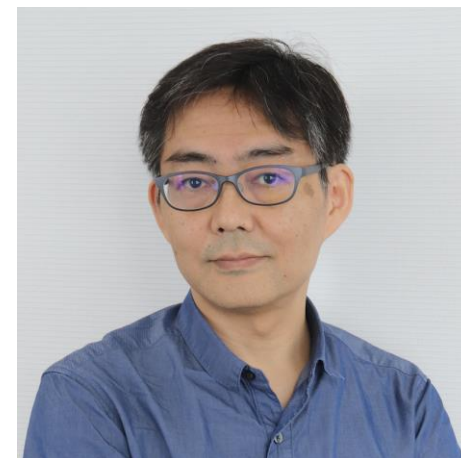
講師

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科
教授 門林 雄基氏

略歴

大阪大学大型計算機センターなどを経て、平成29年より現職。同年、「サイバーレジリエンス構成学研究室」を設立。産官学連携によるサイバーセキュリティ研究開発に20年以上、サイバーセキュリティ人材育成に10年以上にわたり従事。情報処理推進機構「産業サイバーセキュリティセンター」における人材育成事業に構想段階より参画。欧米セキュリティ専門機関とともにサイバーセキュリティ国際標準化を推進する。

IPA産業サイバーセキュリティセンター 専門委員、ITU-Tサイバーセキュリティ作業部会主査、Hardening Project 実行委員等としても精力的に活動。2022年には第18回情報セキュリティ文化賞を受賞。



14:40-15:40 講演2

サイバー犯罪の現状と対策におけるインテリジェンスの活用

概要

企業側が攻撃者の手法を理解して対策を行うように、攻撃者も防御側の仕組みを研究して検知を回避する為の工夫を繰り返しています。多くの組織では最新のセキュリティ製品を導入して対策されているかもしれませんが、現状の脅威に対して十分な対策が出来ているか、脅威動向の変化に対応できているかどうかを把握する事は容易な事ではありません。この講演では、攻撃者視点からみたサイバー犯罪の現状と、動向の変化に対してどのように対応すべきかを解説します。

講師

日本プルーフポイント株式会社
シニア セキュリティ コンサルタント 内田 浩一 氏

略歴

ペネトレーションテストやマルウェア解析、スレットインテリジェンスを得意とするテクニカルコンサルタント。マカフィー(株)においては、プリンシパルコンサルタントとしてSOCの立ち上げや、マルウェア解析、インシデントレスポンス等の業務に従事し、制御システム、IoTデバイス等の新規分野に対するハッキングの調査研究も担当。アビラ(合)では、アジアにおける多くのセキュリティベンダーに対してアンチウィルエンジンの提供とセキュリティ製品開発を支援し、エンドポイントからクラウドまで幅広い製品企画と開発支援の実績を有する。

現在、日本プルーフポイント(株)では、シニアセキュリティコンサルタントとしてメールを中心としたセキュリティ対策強化やインテリジェンスの活用を担当する。



16:10-17:10 講演3

情報セキュリティマネージャーが知っておくべきクラウドセキュリティと社内普及

概要

業務環境は新型コロナウイルス流行を契機に、境界型防御で守られたイントラネット内から、リモートワークやクラウドサービス利用を前提としたものへと急速に変化しています。クラウドサービスは高機能かつ手軽に利用できる反面、特性上セキュリティ対策が必須となります。しかし、高頻度で行われる機能アップデートに追従することは容易ではありません。人的リソースが限られる状況では外部リソースを活用する必要があります。

本講演では、NRIにおいて、デファクトスタンダードなセキュリティフレームワークと脅威情報を活用したクラウドセキュリティ関連ガイドラインと、関係部署と連携しながら行っている社内普及活動についてご紹介します。



講師

株式会社野村総合研究所(NRI)
品質監理本部 情報セキュリティ部
オフィスセキュリティグループGM 佐古 伸晃 氏

略歴

2002年株式会社野村総合研究所(NRI)入社。証券、金融、通信業界のバックエンドエンジニアとして主にミッションクリティカルな基幹システムのインフラを担当。2014年から自社プライベートクラウド、パブリッククラウドを利用したサービス開発・展開・コンサルティングを担当。

2019年より情報セキュリティに従事。クラウドサービスを安全・安心に使うためのガイドライン整備と普及展開、オフィスセキュリティに関連するルール策定・審査を担当。社内外の技術勉強会運営・参加も行っている。

資料

配布可能な講演資料は2023年2月上旬頃を目途に、ISACA東京支部ホームページ上で公開いたします。

<https://www.isaca.gr.jp/cism/cismconf2023.html>

お知らせ

- セミナー講師、講演タイトル、内容等は、都合により変更させていただく場合がございます、ご了承ください。
- お申込みに際してお伺いしたお名前・メールアドレス等の個人情報は、本カンファレンスの中止や延期の連絡、次回のカンファレンスの開催案内に使用させていただくことがあります。

CPE証明

CPE証明については、セミナーの中でご案内します。
セミナー時間合計205分に対するCPE (ISACA継続教育4CPE相当)の証明書を発行します。

お問い合わせ

cism-conf@isaca.gr.jp (ISACA東京支部CISMカンファレンス担当)